

<問題のねらいと学校での学習指導>

この問題は、文の中における主語と述語の関係を捉えることができるかどうかをみる問題です。文章の内容を理解したり表現したりする場合には、文の中での語句の役割や語句相互の關係に気を付けて、文がどのように組み立てられているかを理解することが重要です。ここでは、「かかやいています」の主語が「葉は」とあるという主語と述語との關係を捉えることが求められます。

主語と述語との關係については、日常的に主語が何かと意識して文章を読むことが重要で、それを低学年から繰り返して指導していきます。また、主語を「～は」「～が」などを手掛かりに形式的に判別するのではなく、文の構成を理解した上で、主語と述語の關係を捉えるといった活動を大切にしていきます。

<問題>

【話し合いの様子】で、原さんは【物語】を読んで考えたことを話しています。原さんは物語の何に着目して話していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 登場人物の気持ちや考え方
- 2 作者が伝えていること
- 3 物語の構成
- 4 表現の効果

正答 1

<問題のねらいと学校での学習指導>

この問題は、人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる問題です。本校では2/3の児童が正答を選択することができました。誤答としては、4番を選んでいる児童が多くいました。これは、島さんが着目している部分であり、問題の読み間違い等、問われている内容を誤認してしまったということも考えられます。

「～だから」という理由を話す言葉を意識して読むことで、話し手や書き手の伝えたいことを読み取ることができます。読むときにポイントとなる言葉を捉えながら読むといった活動を大切にしていきます。

【話し合いの様子】

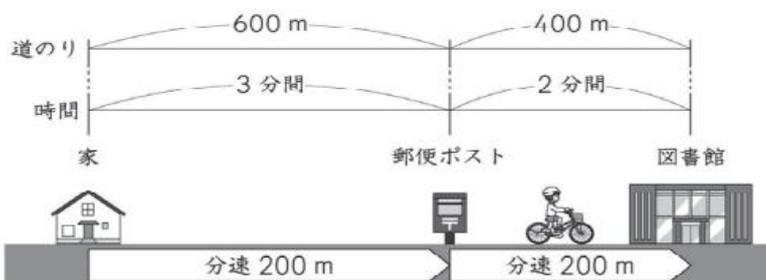
島さん 	原さん 	島さん 	原さん 	島さん 	原さん 
私は、(4)を示しながら「きれいな虹がかんで見えるだけ」という表現がいいなと思ったよ。もう一度物語を読んで、心に残ったところとその理由を考えてみよう。	そうだね。物語のいろいろなところを結び付けて考えると、心に残った理由がはっきりしてきたよ。島さんは、どこが心に残ったの。	そうか。それで結局、オニグモじいさんは、(3)を示しながら「わしが食って生きているのはな、朝日のひかりだよ」と言ったんだね。	この言葉にオニグモじいさんの迷いが表れていると思ったからなんだ。(2)を示しながら「大きな目をひらいて、いっしょうけんめいに」とあるようなハエの子のすなおな姿を見て、自分がハエの子を食べる存在であることを、どのように話すか迷っているのではないかな。	なぜ、そこが心に残ったの。	私は、オニグモじいさんがハエの女の子に、(1)を示しながら「わしみたいなクモが、生きるために食っているのはな」と言ってやめたところが心に残ったんだ。

【算数】

<問題>

たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を通過して図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。

家から郵便ポストまでは、道のりは600mで、3分間かかり、速さは分速200mでした。郵便ポストから図書館までは、道のりは400mで、2分間かかり、速さは分速200mでした。家から図書館までの自転車の速さは、分速何mですか。答えを書きましょう。



正答 分速200m